

高度外国人材に求められる 「仲介スキル」 & 「オンライン業務スキル」とは —CEFR2018補遺版を援用したCan-do statementsの構築—

葦原 恭子 (琉球大学)



発表の流れ

1. ビジネス日本語フレームワーク（BJFW）開発の経緯
2. CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス
3. 質疑応答
4. CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス
5. 質疑応答



ビジネス日本語フレームワーク(BJFW)開発の経緯

日本貿易振興機構 (JETRO) JETROテスト 問題編集委員 (1999~2002)
BJTビジネス日本語能力テスト開発アドバイザー (2003~2008)
琉球大学に赴任 (2009) 日本語教育の傍ら、アジア人財資金構想事業のコーディネータを務める

2010年3月 アジア人財資金構想 高度実践留學生育成事業の終了

自立化 → 人材育成のための評価システムの確立の必要性

BJTに基づくビジネス日本語Can-do statements を開発

ビジネス日本語フレームワーク (BJFW) の開発へ

ビジネス日本語フレームワーク開発(BJFW) の経緯

BJTビジネス日本語能力テストに基づく ビジネス日本語Can-do statements 開発

ビジネス日本語 Can-do statements

ビジネス現場での日本語力を客観的に測定する指標

ビジネス日本語Can-do statementsとは

Can-do statementsとは、ビジネス場面における現実の行動が「できる」といえるか、あるいは、あるいは将来達成できると期待される 能力評価です。これは日本語能力試験などの能力テストの成績値に代わり、受験者が使用場面での必要な言語能力があるかを、正確に測定することをめざします。

また、Can-do statementsは受験者が自分の能力を正確に把握し、適切な目標設定や学習計画を立てるための材料とすることができます。

Can-do statements	レベル
1. 簡単な日本語で挨拶や自己紹介ができる。	基礎
2. 簡単な日本語で自己紹介や挨拶ができる。	基礎
3. 簡単な日本語で自己紹介や挨拶ができる。	基礎
4. 簡単な日本語で自己紹介や挨拶ができる。	基礎
5. 簡単な日本語で自己紹介や挨拶ができる。	基礎
6. 簡単な日本語で自己紹介や挨拶ができる。	基礎
7. 簡単な日本語で自己紹介や挨拶ができる。	基礎
8. 簡単な日本語で自己紹介や挨拶ができる。	基礎
9. 簡単な日本語で自己紹介や挨拶ができる。	基礎
10. 簡単な日本語で自己紹介や挨拶ができる。	基礎

Copyright © ビジネス日本語Can-do statements. All Rights Reserved.

著作権は、Can-do statements 開発者であるJBIJFにあり、無断で他の機関への複製転載は禁止します。商業目的の使用は禁止します。

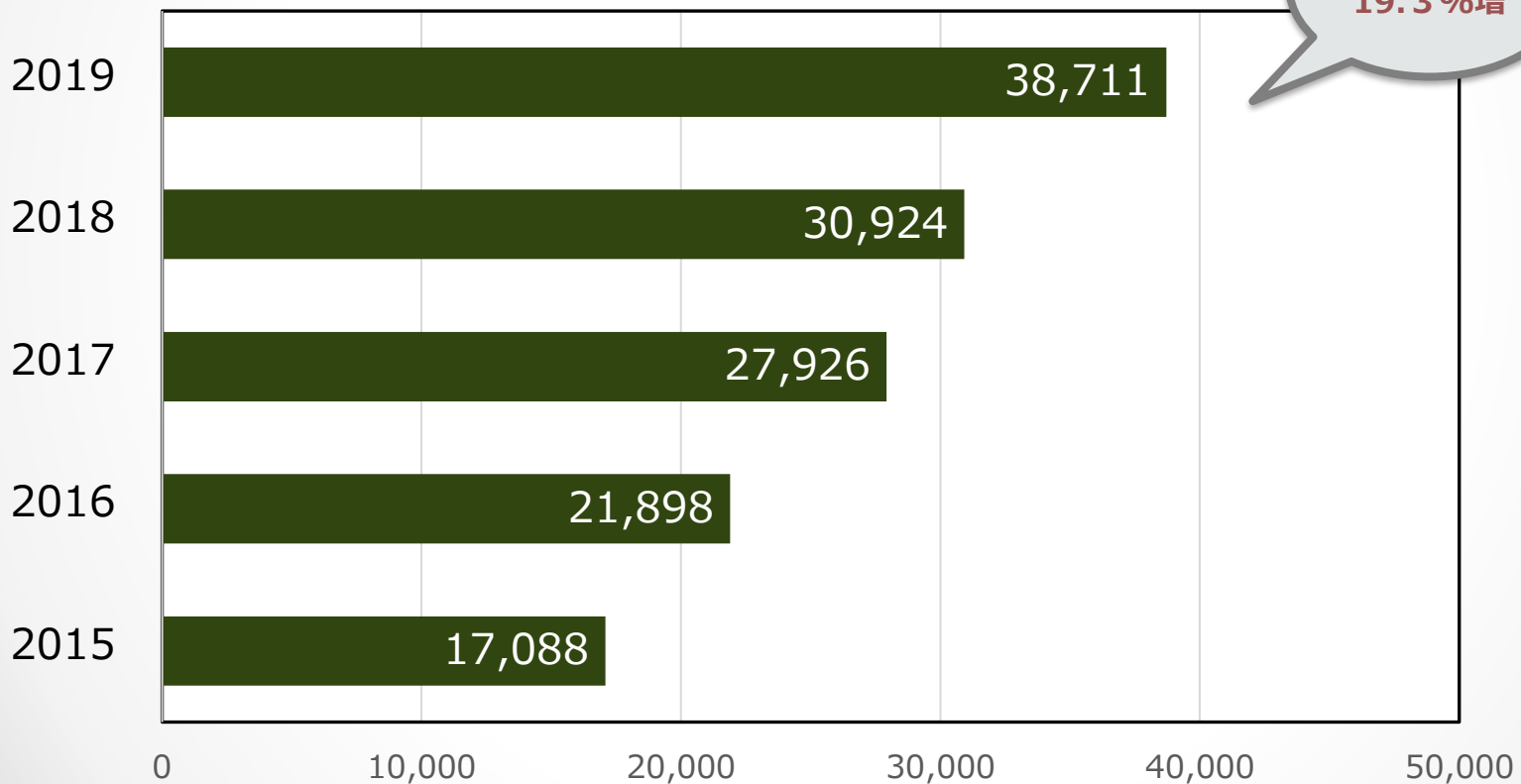
<http://business-japanese-cando.jp>

ビジネス日本語フレームワーク開発(BJFW) の経緯

元外国人留学生を高度外国人材として活用する動きが加速

2019年度 日本企業等に就職した元留学生数は**過去最高**を更新

日本で就職した留学生数の推移（人）



※ 数値は「留学」から「就労」への在留資格許可申請の処分数を示している（法務省入国管理局発表）

ビジネス日本語フレームワーク開発(BJFW) の経緯

現場におけるビジネス日本語教育のニーズの高まり



ビジネス日本語の学習領域は確定していない



高度外国人材の育成・教育・評価に資する

ビジネス日本語評価基準の構築

ビジネス日本語フレームワーク (BJFW)開発の経緯

高度外国人材の育成・教育・評価に資する ビジネス日本語評価基準の構築



日本語教師

日本語教育の現場
目標設定に活用



高度外国人材

就職後
研修や業務の
目標設定



企業担当者

研修の効果
高度人材の
能力評価

ビジネス日本語フレームワーク(BJFW) 開発の経緯

高度外国人材の育成・教育・評価に資する ビジネス日本語評価基準の構築

2009～2013年度
2009～2013年度

BJTビジネス日本語能力テストに基づく
ビジネス日本語Can-do statements 開発



2015～2018年度

ビジネス日本語フレームワーク 開発・構築



2019～2022年度

ビジネス日本語フレームワーク 妥当性検証と尺度化

ビジネス日本語フレームワーク(BJFW) 開発の経緯

BJFW Can-do 項目数 (2022年度確定)

聞く	11
読む	13
書く	18
話す	17
やりとり	20
会議・商談	16
オンライン業務	15

全170項目

仲介 (60項目)

日本語・日本語以外の言語間の口頭による仲介	22
日本語・日本語以外の言語間の書くことによる仲介	12
会議における日本語・日本語以外の言語間の仲介	6
日本語のみによる仲介	9
仲介ストラテジー	11

第3回「日本語教育の参照枠」補遺版の検討に関するワーキンググループ

高度外国人材に求められる「仲介」スキルとは

—CEFR2018補遺版におけるmediationを援用したCan-do statementsの構築—




葦原 恭子（琉球大学）

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

高度外国人材に対する インタビュー調査

調査時期：2017年～2018年

調査対象：タイ人高度人材 
韓国人高度人材

調査結果：

異文化コミュニケーター
様々な方略を用いた**仲介活動**

CEFR 2018 補遺版の刊行

COMMON EUROPEAN FRAMEWORK
OF REFERENCE FOR LANGUAGES:
LEARNING, TEACHING, ASSESSMENT
COMPANION VOLUME
WITH NEW DESCRIPTORS



Can-doの拡充
A1レベルの精緻化
プレA1レベルの設定
CレベルのCan-doリスト
複言語・複文化能力Can-do
Mediation (仲介) Can-do

複言語・複文化社会における「仲介の重要性」の高まり



仲介スキルをビジネス日本語フレームワーク (BJFW) に追加

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

2015～2018年度

直観的手法

先行研究の分析
能力記述文執筆
専門家チーム検討
フレームワーク案構築

2019～2020年度

質的調査法

仲介スキル分析

高度外国人材
日本人専門家への
インタビュー調査
アンケート調査

2021～2022年度

量的調査法

専門家による
並び替え調査
高度外国人材による
Can-do調査
統計分析

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」 Can-do開発のプロセス

CEFR2001における「仲介」

「私たちの社会において通常の言語機能の一つとして重要な位置を占める」

対話者間の仲介

口頭・書記テキストの処理に必要な翻訳・通訳, 要約, 言い換え

Can-doは提示されていない



CEFR 2018補遺版における「仲介」

認知機能（意味の構築・伝達）, 関係性の仲介機能・方略
仲介機能は**5技能（聞く・書く・読む・話す・やりとり）**に匹敵する
言語コミュニケーションの正当な地位
仲介のCan-doが提示されている

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

CEFR 2018 補遺版における仲介に関する記述

- 1) 5技能に匹敵する言語コミュニケーションの正当な地位を占める。
- 2) 言語横断する（情報を他の言語で訳す）ことにとどまらない。
- 3) 人々がお互いに直接コミュニケーションができない時に、コミュニケーションを可能にする。
- 4) 話された内容でも、書かれた内容でも、第一言語でも第二言語でも、受容も産出もする。
- 5) 仲介のCan-do「仲介活動」と「仲介ストラテジー」が提示されている。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

2019~2020

- 1) CEFR 2018 補遺版の仲介に関する記述を抜粋・翻訳
- 2) 仲介のCan-doを抽出・翻訳
- 3) 内容を精査し、BJFWの記述文として書き換え
- 4) BJFWの能力記述文バンクに登録

2021~2022

- 5) Can-do項目を精査・削除・追加・修正
- 6) 日本人専門家・高度外国人材対象の質的調査
- 7) Can-do項目を精査・削除・追加・修正
- 8) Can-do項目の確定

2022~2023

- 9) 高度外国人材300名（予定）対象の量的調査
- 10) Can-doの尺度化・一般に公表

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

仲介Can-do構築の流れ（2019～2022年度）

実施内容	2019		2020		2021		2022	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
項目翻訳・書き換え	[278]	[328]						
口頭発表	葦原 (2019/8)	葦原他 (2020/2)						
論文刊行		葦原他 (2020/3)						
項目の修正			[58]					
質的調査					[58]			
項目の修正・確定						[60]		
量的調査							[60]	
尺度化								[60]

※ 表中の [] は、Can-doの項目数を表している。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録 (2020年度)

仲介活動

テキストの仲介 (141項目)				概念の仲介 (58項目)			
仲介スキル	CEFR	BJFW 2020	除外	仲介スキル	CEFR	BJFW 2020	除外
特定の情報を口頭で伝える	13	26	0	ピアとの協働を促進する	14	11	3
特定の情報を書いて伝える	12	24	0	意味構築のために協働する	18	15	3
データを口頭で伝える	6	6	3	グループワークを主導する (インターアクションを処理)	13	13	0
データを書いて説明する	5	10	0	グループワークを主導する (概念的な初話を促す)	13	12	1
テキストを口頭で処理する	28	44	10	コミュニケーションの仲介 (41項目)			
テキストを書いて処理する	17	34	0	仲介スキル	CEFR	BJFW 2020	除外
書かれたテキストを口頭で訳す	9	18	0	複文化の場を円滑にする	16	16	0
書かれたテキストを書いて訳す	8	4	10	打ち解けた場面で 仲介者として行動する	10	5	5
メモを取る	12	24	0	微妙な場面や意見の相違のある コミュニケーションを 円滑にする	15	13	2
創造的なテキストに 個人的な反応を示す	19	0	19				
創造的なテキストを 分析し,批評する	12	0	12				

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録（2020年度）

仲介ストラテジー			
新しい概念を説明する（23項目）			
仲介スキル	CEFR	BJFW 2020	除外
背景知識を結びつける	7	7	0
言語に適応する	10	9	1
複雑な情報を簡略化する	6	6	0
テキストを簡略化する（15項目）			
仲介スキル	CEFR	BJFW 2020	除外
わかりにくいテキストを説明する	8	23	0
テキストの流れを説明する	7	6	0

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録（2020年度）

BJFWへの書き換えのポイント

- 1) **ビジネス場面**を想定して書き換え
言語A⇄言語B
日本語→日本語以外の言語
日本語以外の言語→日本語
→項目数が倍増
- 2) PreA～A2レベルの
難易度の低いタスクは除外
- 3) レベル差をつける方法
マイナス条件付加はしない
タスクの難易度を変える

自分自身のためのメモ取り
→**業務に活かすタスク**に書き換え

創造的なテキスト（文学など）と
個人の関わりの仲介 →**除外**

仲介活動

テキストの仲介（141項目）

仲介スキル	CEFR	BJFW	除外
特定の情報を口頭で伝える	13	26	0
特定の情報を書いて伝える	12	24	0
データを口頭で伝える	6	6	3
データを書いて説明する	5	10	0
テキストを口頭で処理する	28	44	10
テキストを書いて処理する	17	34	0
書かれたテキストを口頭で訳す	9	18	0
書かれたテキストを書いて訳す	8	4	10
メモを取る	12	24	0
創造的なテキストに 個人的な反応を示す	19	0	19
創造的なテキストを 分析し,批評する	12	0	12

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録 (2020年度)

仲介活動			
テキストの仲介			
仲介スキル	CEFR	BJFW	除外
特定の情報を口頭で伝える	13	26	0

特定の情報を口頭で伝える

CEFR レベル	CEFR2018	BJFW 2020	
	言語A→言語B	日本語→日本語以外の言語	日本語以外の言語→日本語
C1	言語Aで書かれた長く複雑なテキストのある特定の部分にある特定の情報に関連することを言語Bで説明できる。	日本語 で書かれた長く複雑なビジネス文書から業務に必要な情報を抽出し、 日本語以外の言語 で訳して口頭で説明することができる。	日本語以外の言語 で書かれた長く複雑なビジネス文書から業務に必要な情報を抽出し、 日本語 で訳して口頭で説明することができる。
	会議の場で、言語Aで書かれた、ある特定の目的に関連する本の記事について、言語Aでなされたプレゼンテーションを言語Bで置き換えることができる。	会議の場で 日本語 で書かれた情報をもとに 日本語 で発表されたプレゼンテーションの内容を 日本語以外の言語 で訳して口頭で伝えることができる。	会議の場で 日本語以外の言語 で書かれた情報をもとに 日本語以外の言語 で発表されたプレゼンテーションの内容を 日本語 で訳して口頭で伝えることができる。
B2	言語Aで書かれた一般的な主題や、自分の興味のある分野に関連した主題に関する正式な文書やレポートの主要なポイントを言語Bで置き換えることができる。	自分の仕事や業務と関係がある話題について 日本語 で書かれたビジネス文書の主要なポイントを 日本語以外の言語 で訳して口頭で伝えることができる。	自分の仕事や業務と関係がある話題について 日本語以外の言語 で書かれたビジネス文書の主要なポイントを 日本語 で訳して口頭で伝えることができる。

※C2レベルはCan-do記述なし。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録 (2020年度)

仲介活動			
テキストの仲介			
仲介スキル	CEFR	BJFW	除外
データを口頭で伝える	6	6	3

データを口頭で伝える

CEFR レベル	CEFR2018	BJFW 2020	
	言語A→言語B	日本語→日本語以外の言語	日本語以外の言語→日本語
C2	言語Aで書かれたテキストで概念的に複雑な研究の学術的か専門的な話題の経験的データの様々な形と視覚的に構築された情報を言語Bではっきりと確実に訳し、説明することができる。	日本語で書かれた仕事や業務に関連した 専門的な話題 に関するデータの図やグラフを見て、 そのすべてを 日本語以外の言語で正確に訳して口頭で説明することができる。	日本語以外の言語で書かれた仕事や業務に関連した 専門的な話題 に関するデータの図やグラフを見て、 そのすべてを 日本語で正確に訳して口頭で説明することができる。
C1	言語Aで書かれたテキストで概念的に複雑な研究の学術的か専門的な話題の、複雑な図式とその他の視覚的に構築された情報の主要なポイントと詳細を言語Bではっきりと確実に訳し、説明することができる。	日本語で書かれた 仕事や業務に関連した専門的な話題 に関するデータの図やグラフを見て、 その主要なポイント を日本語以外の言語で正確に訳して口頭で説明することができる。	日本語以外の言語で書かれた 仕事や業務に関連した専門的な話題 に関するデータの図やグラフを見て、 その主要なポイント を日本語で正確に通訳して口頭で説明することができる。
B2	言語Aで書かれたテキストで自分自身が興味がある話題の、複雑な図や表やその他の視覚的に構築された情報の詳しい情報を、言語Bではっきりと確実に訳し、説明することができる。	自分の仕事や業務に関連した話題なら 日本語で書かれたデータの図やグラフを見て、詳しい情報を日本語以外の言語で訳して口頭で説明することができる。	自分の仕事や業務に関連した話題なら 日本語以外の言語で書かれたデータの図やグラフを見て、詳しい情報を日本語で訳して口頭で説明することができる。
B1	言語Aで書かれたテキストで自分自身が興味がある話題の図の詳細な情報を、 語彙がわからず、躊躇したり不正確だったりすることもあるが 、言語Bで訳し、説明することができる。	マイナス条件によってレベル差をつけているため、書き換え対象から除外 A2, A1, Pre-A1も除外	

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録（2020年度）

仲介活動			
テキストの仲介			
仲介スキル	CEFR	BJFW	除外
メモを取る	12	24	0

メモをとる			
CEFR レベル	CEFR2018	BJFW 2020	
		日本語で	日本語以外の言語で
C2	打ち合わせやセミナーに参加している間に、話題が複雑で、馴染みがないことでも欠席者のために正確なメモ（または議事録）を作成することができる。	会議やセミナーに参加して、自分の専門分野以外の話題でも、正確な議事録を 日本語で 作成することができる。	会議やセミナーに参加して、自分の専門分野以外の話題でも、正確な議事録を 日本語以外の言語で 作成することができる。
C1	自分自身が興味のある分野の話題で、情報を非常に正確かつ元の情報に忠実に記録して、他の人のためにも使うことが可能な、詳しいメモを作ることができる。	会議や商談で、自分の業務や専門分野に関連した話題について、聞き取った情報を正確に示した詳しいメモを 日本語で 作ることができる。	会議や商談で、自分の業務や専門分野に関連した話題について、聞き取った情報を正確に示した詳しいメモを 日本語以外の言語で 作ることができる。
B2	馴染みのある話題の構造がはっきりした講義を理解し、単語に集中しすぎるあまり、情報を聞きもらす傾向があるにしても、自分自身が重要だと思った点をメモすることができる。	会議やセミナーなどで自分が重要だと思った点を 日本語で メモすることができる。	会議やセミナーなどで自分が重要だと思った点を 日本語以外の言語で メモすることができる。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録（2020年度）

仲介活動			
テキストの仲介			
仲介スキル	CEFR	BJFW	除外
創造的なテキストに個人的な反応を示す	19	0	19
創造的なテキストを分析し,批評する	12	0	12

創造的なテキストを分析し, 批評する		
CEFRレベル	CEFR2018	BJFW 2020
C2	意味のはっきりわかる違いやわずかな違い、また微妙なスタイルの違いも含めて、小説、詩、演劇など、様々な時代・ジャンルの作品の批評的評価をすることができる	創造的なテキストと個人との関わりの仲介であるため書き換え対象から除外
C1	異なる時代、ジャンルの文学作品を含め幅広く様々なテキストを批評的に評価できる。作品がそのジャンルでの慣習を満たす範囲を評価できる。	
B2	類似点、対照的な点を探り、それらを比較対照して説明し、主題、人物、場面を考察して、二つの作品を比較することができる。	
B1	日常語で書かれたわかりやすい筋立ての物語について、要となるエピソードや出来事を指摘して、なぜそれが重要なのか、出来事と出来事の間関係を説明できる。	

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録（2020年度）

BJFWへの書き換えのポイント

- 1) **ビジネス場面**を想定して書き換え
- 2) PreA～A2レベルの
難易度の低いタスクは除外
- 3) レベル差をつける方法
マイナス条件付加はしない
タスクの難易度を変える

仲介活動			
概念の仲介（58項目）			
仲介スキル	CEFR	BJFW	除外
ピアとの協働を促進する	14	11	3
意味構築のために協働する	18	15	3
グループワークを主導する (インターアクションを処理)	13	13	0
グループワークを主導する (概念的な初話を促す)	13	12	1

ピアとの協働を促進する

CEFR レベル	CEFR2018	BJFW 2020
C1	攻撃が起きるのを回避し、または最小限度に抑えて、意見の不一致や批判をかわし、貢献的なことはきちんと評価して、グループ内の異なる見方を丁寧に扱うことができる。	会議で、攻撃的な議論にならないように注意し、意見の不一致や批判をうまく扱ったり建設的意見はきちんと取り上げたり丁寧な対応をして、異なる意見をまとめることができる。
B2	グループの話し合いで考えや決定したことを記録したり、それをほかのグループと話し合ったり、後で全体会議でグループを代表して要点を発表したりして、グループの代表レポーターの役割を務められる。	会議で、議事録を作成する、それをもとに出席者以外の人と話し合う、会議メンバーを代表して要点を発表する、などして会議の代表の役割を務めることができる。
A2	時々もう一度言ってもらったり別の言い方で言ってもらえれば、 ほかの人が何を考えているか聞いたり、提案したり、反応を理解したりして、簡単で実用的なタスクで協力できる	マイナス条件によってレベル差をつけているため書き換えから除外

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録（2020年度）

BJFWへの書き換えのポイント

- 1) **ビジネス場面**を想定して書き換え
- 2) 仲介のタスクというよりは
仲介者としての行動・心構え
- 3) 実際の仲介活動との照合が必要

仲介活動			
コミュニケーションの仲介（41項目）			
仲介スキル	CEFR	BJFW	除外
複文化の場を円滑にする	16	16	0
打ち解けた場面で 仲介者として行動する	10	5	5
微妙な場面や意見の相違のある コミュニケーションを円滑にする	15	13	2

複文化の場を円滑にする

CEFR レベル	CEFR2018	BJFW 2020
C2	社会文化的かつ社会言語的な点を考慮しつつ、自分が属しているコミュニティ、または他のコミュニティのメンバー同士を効果的に自然に仲介できる。	日本人と外国人が業務上で交流する際に 、社会文化的な点と社会言語的な点を考慮しながら、効果的に自然な形で仲介することができる。
C1	発話されたことや書かれたことに対して、人々がどのように誤解するかを先読みし、それについてコメントしたり、関連する問題についての文化的側面の違いを解釈して、伝えたりすることによって肯定的な交流を維持する手助けをすることができる。	日本人と外国人が業務上で協働する際に 、異文化による誤解を先読みし、誤解を生まないように説明したり、解釈して伝えることによって、コミュニケーションを促進することができる。
B2	異文化間の出会いの場で、コンテキストに適応したやり方で表現することによって、自分自身が普通だと思っている世界観とは異なる側面を尊重することを示すことができる。	日本人と外国人が業務上で協働する際に 、それぞれの文化のコンテキストを理解し、それぞれの世界観を尊重しながら仲介することができる。
B1	異文化の出会いの場で、グループの他のメンバーの異なる世界観や感覚を認識し、協力的に行動することができる。	日本人と外国人が業務上で協働する際に 、それぞれの異なる世界観や感覚を理解し、それらを効果的に伝えることによって、コミュニケーションを促進することができる。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録（2020年度）

BJFWへの書き換えのポイント

- 1) **ビジネス場面**を想定して書き換え
- 2) 難易度の低いタスクは除外

仲介ストラテジー

新しい概念を説明する（23項目）

仲介スキル	CEFR	BJFW	除外
背景知識を結びつける	7	7	0
言語に適応する	10	9	1
複雑な情報を簡略化する	6	6	0

新しい概念を説明する

CEFR レベル	CEFR2018	BJFW 2020
C2	その時の聴衆に合わせた言葉遣い、適切な洗練さと詳しさとで主要な内容を伝えるために、非常に幅広く言葉を選んで使うことができる。	プレゼンテーションなどの時 、聞き手に合わせた言葉遣い、適度な詳しさとで主要な内容を伝えるために、非常に幅広く言葉を選んで使うことができる。
C1	自分の専門分野の問題について、専門家以外の人とコミュニケーションをとる際に、専門用語や難しい概念を説明できる。	業務上の専門的な内容について 、専門以外の人とコミュニケーションをとる際に、専門用語や難しい概念を説明できる。
B2	自分の分野における技術的な話題を、専門知識を持っていない聞き手のために、専門的ではない言葉をうまく使って説明することができる。	業務上の専門的な話題 を、専門知識を持っていない聞き手のために、専門的ではない言葉をうまく使って説明することができる。
B1	馴染みのあるテーマについて、短くわかりやすく話されたり書かれたテキスト（短い雑誌の記事やインタビューなど）の要点を、他の人にとってわかりやすい内容になるように、よりシンプルに言い換えたり書き換えたりすることができる。	業務に関連する話題について 、短くわかりやすく話されたり書かれたテキスト（短い記事やインタビューなど）の要点を、他の人にとってわかりやすい内容になるように、よりシンプルに言い換えたり書き換えたりすることができる。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do内容の精査・能力記述文バンクに登録（2020年度）

BJFWへの書き換えのポイント

- 1) **ビジネス場面**を想定して書き換え
- 2) 話し言葉と書き言葉を区別し記述を追加した

仲介ストラテジー

テキストを簡略化する（15項目）

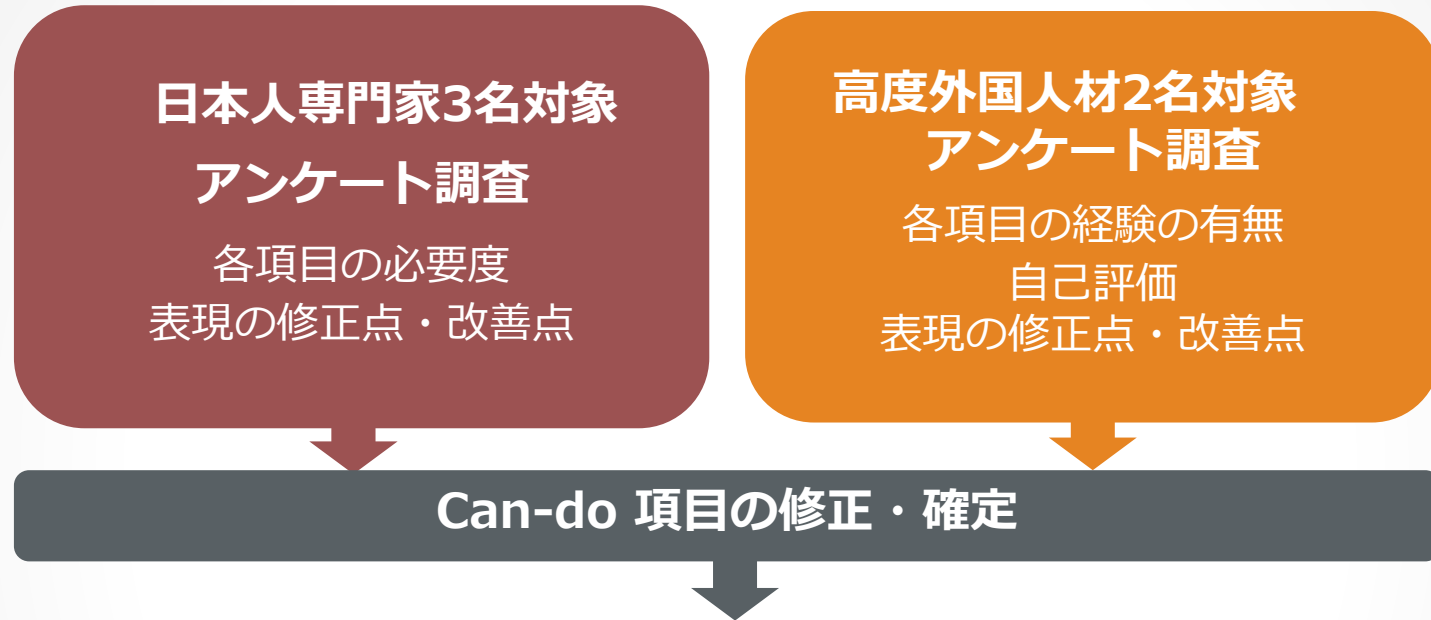
仲介スキル	CEFR	BJFW	除外
わかりにくいテキストを説明する	8	23	0
テキストの流れを説明する	7	6	0

新しい概念を説明する

CEFR レベル	CEFR2018	BJFW 2020			
		話し言葉→話し言葉	話し言葉→書き言葉	書き言葉→書き言葉	書き言葉→話し言葉
C2	複雑な学術的または専門的な話題に関するテキストで示される情報を、詳しく説明したり例示したりすることによって、わかりやすく伝えることができる	複雑で専門的な話題に関する内容を 聞いた後 、詳しく説明したり例示したりすることによって、わかりやすく情報を 口頭 で伝えることができる。	複雑で専門的な話題に関する内容を 聞いた後 、詳しく説明したり例示したりすることによって、わかりやすく情報を 文章 で伝えることができる。	専門的な 雑誌や報告書 の複雑で専門的な話題に関する内容を詳しく説明したり例示したりすることによって 書き換えて 、わかりやすく情報を伝えることができる。	専門的な 雑誌や報告書 の複雑で専門的な話題に関する内容を詳しく説明したり例示したりすることによって、わかりやすく情報を 口頭 で伝えることができる。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

Can-do項目の修正・質的調査・項目の確定（2021～2022年度）



仲介（60項目）	
日本語・日本語以外の言語間の口頭による仲介	22
日本語・日本語以外の言語間の書くことによる仲介	12
会議における日本語・日本語以外の言語間の仲介	6
日本語のみによる仲介	9
仲介ストラテジー	11

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

CEFR-CV 2018 仲介 Can-do 書き換えのプロセス (2020→2022)

EXPLAINING DATA IN SPEECH データを口頭で説明する				
	CEFR-CV 2018	日本語訳	2020 書き換え	2021～2022 修正
C1	Can explain (in Language B) the relevance of specific information found in a particular section of a long, complex text (written in Language A).	言語Aで書かれた長く複雑なテキストのあるセクションの特定の情報に関連することを言語Bで説明することができる。	日本語で書かれた長く複雑なビジネス文書から業務に必要な情報を抽出し、日本語以外の言語で訳して口頭で説明することができる。	日本語で書かれた、 ビジネス文書 から業務に必要な情報を取り出して、日本語以外の言語に訳して、口頭で説明することができる。
				日本語以外の言語で書かれた、 ビジネス文書 から業務に必要な情報を取り出して、日本語に訳して、口頭で説明することができる。
RELAYING SPECIFIC INFORMATION IN WRITING 特定の情報を書いて伝える				
	CEFR-CV 2018	日本語訳	2019 書き換え	2020～2021 修正
B2	Can relay in writing (in Language B) the relevant point(s) contained in an article (written in Language A) from an academic or professional journal .	言語Aで書かれたアカデミックまたは専門的な雑誌の記事に関連したポイントを言語Bで書いて伝えることができる。	日本語以外の言語で書かれた自分の仕事や業務に関する専門分野の記事のポイントを日本語で書いて伝えることができる。	日本語で書かれた、 業務に関するビジネス文書の要点 を、日本語以外の言語で書いて伝えることができる。 (書く際には、文書を作成するためのソフトウェアを使用する)
				日本語以外の言語で書かれた、 業務に関するビジネス文書の要点 を日本語で書いて伝えることができる。 (書く際には、文書を作成するためのソフトウェアを使用する)

※ C1, B2などのレベル設定は、CEFR-CV 2018のものであり、BJFWにおけるレベル設定は量的調査後、決定する。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

CEFR-CV 2018 仲介 Can-do 書き換えのプロセス (2020→2022)

NOTE-TAKING (LECTURES, SEMINARS, MEETINGS ETC.) メモを取る				
	CEFR-CV 2018	日本語訳	2020 書き換え	2020～2021 修正
C1	Can, whilst continuing to participate in a meeting or seminar, create reliable notes (or minutes) for people who are not present, even when the subject matter is complex and/or unfamiliar.	打ち合わせやセミナーに参加している間にトピックが複雑で馴染みがないことでも欠席者のために 正確なメモ（または議事録） を作成することができる。	会議やセミナーに参加して自分の専門分野以外の話題でも 正確な議事録を 日本語で作成することができる。	日本語による会議やセミナーに参加して、 議事録を日本語以外の言語 で作成することができる。
				日本語以外の言語による会議やセミナーに参加して、 議事録を日本語 で作成することができる。
COLLABORATING TO CONSTRUCT MEANING 意味構築のために協働する				
	CEFR-CV 2018	日本語訳	2020 書き換え	2020～2021 修正
B2	Can consider two different sides of an issue, giving arguments for and against, and propose a solution or compromise.	賛成と反対の議論を提示したり、 解決方法や折衷案を提案すること によってある問題についての異なる2つの側面について考察することができる。	会議で異なる意見が対立した場合、双方の意見を検討し、 解決方法や折衷案を提案することができる。	日本語による会議で、異なる意見が対立した場合、双方の意見を検討し、 解決方法や折衷案を提案することができる。

※ C1, B2などのレベル設定は、CEFR-CV 2018のものであり、BJFWにおけるレベル設定は量的調査後、決定する。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」 Can-do開発のプロセス

CEFR-CV 2018 仲介ストラテジー Can-do 書き換えのプロセス (2020→2022)

STRATEGIES TO EXPLAIN A NEW CONCEPT 新しい概念を説明する				
	CEFR-CV 2018	日本語訳	2020 書き換え	2021~2022 修正
C1	<p>Can explain technical terminology and difficult concepts when communicating with non-experts about matters within his/her field of specialisation.</p>	<p>自分の専門分野の問題について専門家以外の人とコミュニケーションをとる際に専門用語や難しい概念を説明できる。</p>	<p>業務上の専門的な内容について、専門以外の人とコミュニケーションをとる際に、専門用語や難しい概念を説明できる。</p>	<p>業務上の専門知識を持たない人に、専門的な内容を伝えるときに、専門的な概念や用語を、日本語でわかりやすく説明することができる。</p>
ADAPTING LANGUAGE 言語に適応する				
	CEFR-CV 2018	日本語訳	2020 書き換え	2021~2022 修正
B2	<p>Can adapt the language of a very wide range of texts in order to present the main content in a register and degree of sophistication and detail appropriate to the audience concerned.</p>	<p>聴衆に合わせた言葉遣い・適切な洗練さと詳しさを持って主要な内容を伝えるために非常に幅広く言葉を選んで使うことができる。</p>	<p>プレゼンテーションをする時、主要な内容を伝えるために聞き手に合わせた言葉遣い・適切な詳しさで非常に幅広く日本語の表現を選んで使うことができる。</p>	<p>日本語でプレゼンテーションをする時、聞き手に合わせた適切な言葉遣い・表現・情報量で、主要な内容を伝えることができる。</p>

※ C1, B2などのレベル設定は、CEFR-CV 2018のものであり、BJFWにおけるレベル設定は量的調査後、決定する。

CEFR-CV 2018を援用した「仲介」Can-do開発のプロセス

今後の計画

2022～2023年度

- 1) 300名の高度外国人材にCan-do調査および経験調査を実施
- 2) 項目の難易度を推定するためにラッシュ系モデルによる統計分析を実施
- 3) 分析結果に基づき、妥当性検証によってCan-do項目を再精査
- 4) Can-do項目を難易度順に並べ、レベル設定を行い、尺度化
- 5) ビジネス日本語フレームワークを広く一般公開

参考文献

- 1) 葦原恭子他 (2020) 「高度外国人材に求められる「仲介」スキルとは — CEFR 2018補遺版におけるmediationの分析を通して —」, 琉球大学国際教育センター紀要 第4号, pp.11-35, 琉球大学国際教育センター 2020年3月
- 2) 奥村三菜子 (2019) 「今, 話題のCEFR A2って, 何? 《会場からの質問への回答》」 2019年度日本語学校教育研究大会
日本語教育振興協会 <https://www.nisshinkyō.org/news/pdf/20190821y.pdf>
(2020年1月10日閲覧)
- 2) 西山教行 (2018) 「CEFRの増補版計画について」 『言語政策』 第14号 2018年3月
日本言語政策学会
- 3) Council of Europe (2001) Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment
<https://rm.coe.int/16802fc1bf> (2022年9月14日閲覧)
- 4) Council of Europe (2018) Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment Companion Volume with New Descriptors
<https://rm.coe.int/cefr-companion-volume-with-new-descriptors-2018/1680787989>
(2022年9月14日閲覧)

科学研究補助金 基盤研究 (C)

**高度外国人材に求められるビジネス日本語フレームワークの確立
—尺度化と妥当性検証—**

課題番号19K00712

研究代表者：葦原恭子

研究分担者：塩谷由美子, 島田めぐみ, 奥山貴之, 野口裕之

2019年4月～2023年3月

質疑応答

ありがとうございました



高度外国人材に求められるオンラインスキルとは

—CEFR2018補遺版を援用したCan-do statementsの構築—

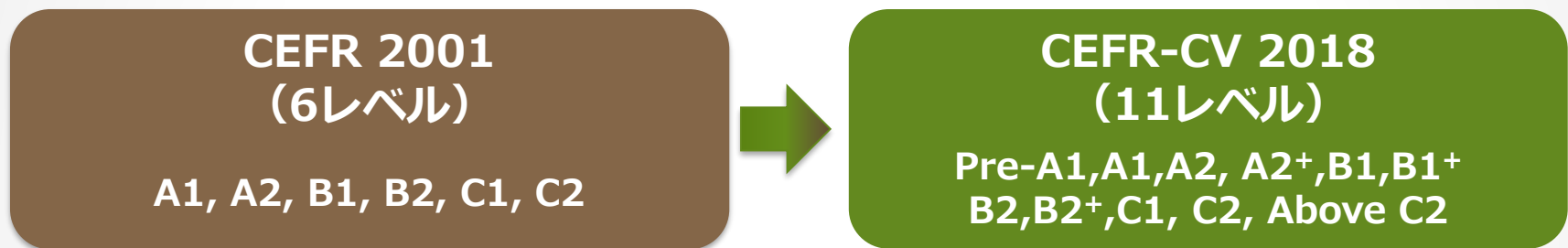


葦原 恭子（琉球大学）

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

CEFR 2018 補遺版の刊行

1) レベル設定の変更



2) 仲介 (mediation) Can-do

3) 複言語・複文化能力 Can-do

4) オンライン上のやりとり (Online interaction) Can-do

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材をとりまく働き方の変化

- 1) 日本政府「働き方改革」 → 一環として「テレワーク」を推進
- 2) 総務省「通信利用動向調査」 → テレワークを導入する企業は増加傾向
- 3) 国土交通省「テレワーク人口実態調査」
→ 2019年3月現在 テレワークを実施した企業 49.4%
- 4) 国土交通省「新型コロナウイルス感染症対策におけるテレワーク実態調査」
→ 2020年3月現在 在宅勤務でテレワークを初めて実施した人 52.0%



高度外国人材がオンライン業務に携わる機会の増加

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

CEFR 2018 補遺版の刊行
高度外国人材をとりまく働き方の変化

複言語・複文化社会における
グローバルなビジネス場面での
オンライン上のやりとりの重要性の高まり



オンライン上のやりとりのスキルに関するCan-do statementsの構築



高度外国人材が携わるオンライン業務をめぐる状況についての実態調査

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

オンラインCan-do構築の流れ（2019～2022年度）

年度 実施内容	2019		2020		2021		2022	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
項目翻訳・書き換え	[47]	[20]						
口頭発表					葦原他 (2021/5)			
論文刊行				葦原他 (2021)			葦原他 (2022)	
項目の修正			[20]					
質的調査					[20]			
項目の修正・確定						[15]		
量的調査							[15]	
尺度化								[15]

※ 表中の [] は、Can-doの項目数を表している。

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

オンライン上のやりとりのスキルに関するCan-do の構築（2019～2020年度）

オンラインによる会話とディスカッション			
CEFRレベル	CEFR項目数	除外/統合	BJFW
C2	3	0	3
C1	4	0	5
B2+・B2	4	3	1
B1+・B1	4	4	0
A2+・A2	5	4	1
A1	2	2	0
Pre-A1	2	2	0
小計	24	15	10

目標が設定されているオンライン上の処理と協働			
CEFRレベル	CEFR項目数	除外/統合	BJFW
C2	2	0	2
C1	4	1	3
B2+・B2	4	0	4
B1+・B1	5	4	1
A2+・A2	6	6	0
A1	1	1	0
Pre-A1	1	1	0
小計	23	13	10

CEFR 2018 補遺版 オンライン上のやりとり**47**項目 → BJFWの**20**項目として再構築 葦原他（2021）

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査（2020年10月～11月）

- 1) 高度外国人材が携わるテレワークを中心とした**オンライン業務の実態**を明らかにする。
- 2) 高度外国人材の**オンライン業務経験の有無・自己評価**を明らかにする。
- 3) オンライン業務をする上で高度外国人材が抱える**問題点・対処法**を明らかにする。



CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査（2020年10月～11月）

- 1) 高度外国人材を対象にテレワークを中心とした**オンライン業務に関するアンケート調査**を実施する。
- 2) 高度外国人材を対象に**オンライン上のやりとりに関するCan-do**で各項目の経験の有無・自己評価に関する**アンケート調査**を実施する。
- 3) アンケート回答者のうち3名を対象に**半構造化インタビュー**を実施する。



CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査（2020年10月～11月）

アンケート調査

調査回答者の概要

() は人数

21カ国・地域
121名

国籍	中国 (29) 台湾 (23) 韓国 (12) タイ (9) ベトナム (8) ドイツ (8) フランス (6) アメリカ (4) イタリア (3) スウェーデン (3) モンゴル (3) カナダ (2) スペイン (2) ウズベキスタン (1) ブラジル (1) インドネシア (1) ラトビア (1) ロシア (1) インド (1) ミャンマー (1) ポーランド (1) 不明 (1)
勤務地	日本国内 (88) 日本国外 (33)
JLPT	N1/旧1級 (89) N2/旧2級 (24) N3 (3) 未受験 (5)
学習歴	1～5年 (42) 6～10年 (45) 11～15年 (27) 16～20年 (7)
業種	情報通信業 (39) 製造業 (29) 卸売・小売業 (16) 教育・学習支援業 (15) 宿泊・飲食サービス業 (7) 金融・保険業 (3) 不動産業 (3) 娯楽業 (5) 農業・林業 (1) 運輸業 (1) その他 (2)
役職	役職なし (86) 主任・チーフ (17) 管理職 (15) 経営者 (2) 役員 (1)
勤続年数	1～3年 (87) 4年～6年 (22) 7年～9年 (11) 10年以上 (1)
担当業務	専門・技術職 (29) 事務職 (32) 営業 (24) 販売 (14) 管理職 (10) 研究職 (4) 教員 (2) 通訳・翻訳 (2) 企画 (1) その他 (3)

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査（2020年10月～11月）

アンケート調査

テレワークの利用状況の実態

() は人数

テレワークの経験	あり (99) なし (22)
テレワークの頻度	毎日 (39) 週1～2回 (24) 週3～4回 (31) 月2～3回 (1) その他 (4)
テレワークの時間帯	終日 (76) 半日 (11) 終日・半日 (3) その他 (9)
テレワークの感想	とても良い (26) 良い (55) 悪い (13) とても悪い (1) その他 (4)
テレワークの利点	ウイルスに対する不安が消える (77) 満員電車のストレスが解消する (58) 睡眠時間が増える (25) 自分のペースで仕事できる (22) 静かな環境で業務に集中できる (22) 身だしなみを気にしなくて良い (1) 自炊ができる (1)
テレワークにおける生産性	とても上がった (5) 上がった (39) 変わらない (37) 下がった (17) とても下がった (1)
生産性が上がった理由	通勤時間・外出などの移動時間が減った (43) 通勤時間の短縮 (32) ストレスの軽減 (32) 仕事が中断することなく続けられる (23) 非効率な部分もあるが全体的に向上した (1) 移動時間に仕事ができる (1)
生産性が下がった理由	同僚や上司とのコミュニケーションが取りづらくなった (37) 私生活と仕事の切り替えが難しい (27) 自宅の仕事環境が整っていない (22) 実際に製品に触れることができない (1)

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査（2020年10月～11月）

アンケート調査

テレワークの利用状況の実態

（ ）は人数

精神的なストレス	平常時よりストレスが大きい（14）特に変わらない（39） 平常時よりストレスが小さい（40）その他（6）
コミュニケーションの工夫	できるだけすぐにレスポンスを返す（59） 毎日オンラインでミーティングや打ち合わせをする（40） チャットの文字会話ではなく電話で話す（37）チャットで雑談する（20） 特に工夫はない（4）
オンラインでする業務	同僚や上司とメールでやりとりする（82） 社内のオンライン会議に参加する（70）顧客とメールでやりとりする（54） 社外の人とオンライン会議に参加する（40）社内の人とチャットする（49） 担当業務に関する情報を収集する（31）社外の人とチャットする（17） 取扱商品/製品をオンラインで紹介する（11）
オフラインでする業務	全てオンライン業務（31）事務作業（35）営業・顧客対応（9） 通訳・翻訳作業（7）その他（17）

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査（2020年10月～11月）

Can-do調査

No.	オンラインによる会話とディスカッション	経験率 (%) N=99	自己評価 M N=121	自己評価 SD N=121
1	専門分野や担当業務について、詳細情報を示しながら、 オンライン投稿 をすることができる。	87.9	4.21	0.81
2	オンラインのチャットで、スレッド内の自分の発言内容に対する他人の反応を適切に理解して返信し、 やりとりに参加 することができる。	94.9	4.33	0.71
3	オンラインのチャットで、専門的な話題に関する議論を評価したり、言い換えたり、論争したりすることができる。	81.8	3.94	0.98
4	オンラインディスカッションで、専門的な話題に関する議論を評価したり、言い換えたり、論争したりすることができる。	82.8	3.82	1.04
5	オンラインでのやりとりの中で、敬語を使ったり、カジュアルな表現を使ったりするなど 表現方法を調整し、使い分ける ことができる。	88.9	4.10	0.86
6	オンラインのディスカッションで、専門的な、または抽象的な話題でも追加の説明を求めたり、追加の説明をしたりしながら参加することができる。	83.8	3.87	0.94
7	オンラインのチャットで、複数の参加者がいる場合、コミュニケーションの意図や、文化的な意味を理解しながら、やりとりをすることができる。	91.9	4.02	0.82
8	様々なオンライン環境や、コミュニケーションの目的によって、必要に応じて表現や文体をすばやく調整することができる。	88.9	3.96	0.83
9	オンラインのディスカッションで発生する 文化的な誤解 に対して、コミュニケーション上の問題や感情的な反応を予測して、効果的に対応することができる。	75.8	3.69	0.94
10	オンラインのディスカッションに参加するときに、 曖昧な、時には冗談を含んだ文脈 にも柔軟に敏感に反応し、はっきりと正確に自分の意見を述べるることができる。	82.8	3.66	0.99

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査（2020年10月～11月）

Can-do調査

No.	目標が設定されているオンライン上の処理と協働	経験率 (%) N=99	自己評価 M N=121	自己評価 SD N=121
11	オンラインでの業務のプロセス上で起こる誤解を解き、摩擦に効果的に対処することができる。	74.7	3.60	0.91
12	オンラインで資料や原稿を作成する際、推敲と校正の段階で、グループの作業に指示をして、精度を高める修正をすることができる。	70.7	3.77	1.00
13	複雑なオンラインでの処理をする時に、ディスカッションと交渉をやりこなすために、言語を柔軟に調整することができる。	75.8	3.73	0.97
14	オンラインで担当業務に関する条件交渉や複雑な詳細を説明するなどのやりとりをすることができる。	76.8	3.74	0.95
15	オンラインのやりとりで起こる誤解や想定外の問題があるときに、解決のために丁寧に適切に返信して対応することができる。	81.8	3.87	0.90
16	オンラインで社内のプロジェクトをしているグループで提案を評価したり、分担作業のために補助的な役割をしたり、必要な説明を求めたりすることができる。	78.8	3.86	0.89
17	オンライン上の分担された作業を完成するために指示に従ったり、質問をしたり、説明を求めたりすることができる。	91.9	4.26	0.69
18	専門分野や、担当業務に関するオンライン上の協働作業で、目標達成のために、グループのメンバーに役割や分担、締め切りをリマインドすることによってリーダー的な役割を果たすことができる。	69.7	3.76	1.05
19	オンライン上で、協働で原稿や資料を書いたり、書き直したりする複雑なプロジェクトで目標達成のための指示を正確に理解したり、他の人に伝えたりして、参加することができる。	73.7	3.77	1.06
20	オンライン上の協働的なやりとり上で起こりうるコミュニケーション上の問題や文化的な問題をメディア（ビジュアル、オーディオ、グラフィック）を使って説明・確認・例示をすることによって、効果的に処理することができる。	72.7	3.72	0.99

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査結果



Can-do調査

- 1) 自己評価が最も高いCan-do項目の平均値は**4.33**で経験率は**94.9%**であった。
- 2) 自己評価の平均値が比較的高い項目は**一般的な業務**に関わるものが多く、経験率も相対的に高かった。(項目1, 項目5, 項目17など)
- 3) 自己評価が最も低いCan-do項目の平均値は**3.60**で経験率は**74.7%**であった。
- 4) 自己評価の平均値が比較的低い項目は**異文化間コミュニケーション能力**と関連する項目が多く、経験率も相対的に低かった。(項目10, 項目13, 項目20など)

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査（2020年10月～11月）




インタビュー調査

調査対象者	高度外国人材A	高度外国人材B	高度外国人材C
国籍	カナダ 	台湾 	ドイツ 
使用可能言語	英語・日本語	中国語・日本語・英語	独語・日本語・英語
日本在住歴	1年10ヶ月	3年7ヶ月	6年
現職	広告代理店	翻訳会社	メーカー
在職期間	10ヶ月	6ヶ月	4年
主な業務	商品をメディアに紹介	翻訳・コーディネート	海外営業
テレワークの開始時期	入社後1ヶ月より	入社当初より	休職・再就職直後より
テレワークの経験	在宅	在宅	在宅
テレワークの頻度	週3～4回（終日）	週3～4回（終日）	週3～4回（終日）
テレワークの感想	良い（やりやすい）	悪い（やりにくい）	良い（やりやすい）

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査

インタビュー調査

調査対象者	高度外国人材A	高度外国人材B	高度外国人材C
国籍	カナダ 	台湾 	ドイツ 
良かったこと	感染の不安解消 自由な身だしなみが可能	感染の不安解消 自分のペースで仕事可能	感染の不安解消 満員電車を回避可能
生産性	変わらない	下がった	下がった
精神的ストレス	特に変わらない	平常時よりストレス大	平常時よりストレス大
コミュニケーション量	増えた	増えた	少なくなった
コミュニケーションの取り方の工夫	迅速なレスポンス・チャットで頻繁に連絡を取る・毎日オンラインでミーティングする		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 入社後1ヶ月間で社内の人間関係を構築後、テレワーク開始。 広告代理店という業種はテレワークに合わない。 テレワーク後、頻繁にオンライン会議・チャット交流でコミュニケーション量は増加。 	<ul style="list-style-type: none"> 入社直後からテレワーク開始 対面で人間関係を構築できず敬語など待遇表現の使用困難。 業務を習う際、オンライン上のテキストで実施するため困難。 テレワーク後、頻繁にオンライン会議・チャット交流でコミュニケーション量は増加。 	<ul style="list-style-type: none"> 4年間海外営業に従事後、テレワーク開始したが、開始前の業務との差が大きく、困惑。 社内・社外のオンライン会議は音声のみでビデオを使用しないため内容理解が困難。 個別に業務を担当しコミュニケーション量は減少。

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

高度外国人材が携わるオンライン業務に関する調査結果

インタビュー調査

- 1) 入社後テレワークが開始するまでの期間によって人材が直面する問題点が異なっていた。
- 2) テレワークに関する問題点は人材が所属する職場によって異なっていた。
- 3) 企業によってコミュニケーションの取り方や量が異なっていた。
- 4) コミュニケーションの取り方の工夫は人材間で共通点が見られた。

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

オンラインCan-do構築の流れ（2019～2022年度）

年度 実施内容	2019		2020		2021		2022	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
項目翻訳・書き換え	[47]	[20]						
口頭発表					葦原他 (2021/5)			
論文刊行				葦原他 (2021)			葦原他 (2022)	
項目の修正			[20]					
質的調査					[20]			
項目の修正・確定						[15]		
量的調査							[15]	
尺度化								[15]

※ 表中の [] は、Can-doの項目数を表している。

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

Can-do項目の修正・質的調査・項目の確定（2021～2022年度）

No.	オンラインによる会話とディスカッション 2020	BJFW 2022
1	専門分野や担当業務について、詳細情報を示しながら、 オンライン投稿 をすることができる。	専門分野や担当業務について詳細情報を示しながら、 SNSにオンライン投稿 をすることができる。
2	オンラインのチャット で、スレッド内の自分の発言内容に対する他人の反応を適切に理解して返信し、やりとりに参加することができる。	オンラインの同期型の文字チャット でスレッド内の自分の書き込みに対する他の人の反応を適切に理解して返信し、やりとりに参加することができる。
3	オンラインのチャット で、専門的な話題に関する議論を評価したり、言い換えたり、論争したりすることができる。	オンラインの同期型の文字チャット で、専門的な話題に関するやりとりに参加することができる。
4	オンラインディスカッション で、専門的な話題に関する議論を評価したり、言い換えたり、論争したりすることができる。	同期型のオンライン会議ツールのディスカッション で、専門的な話題に関するやりとりに参加することができる。
5	オンラインでのやりとりの中で 、敬語を使ったり、カジュアルな表現を使ったりするなど表現方法を調整し、使い分けることができる。	オンラインでの会話によるやりとりの中で 、状況に合わせて、敬語とカジュアルな表現を使い分けることができる。
		オンラインでの書き込みによるやりとりの中で 、状況に合わせて、敬語とカジュアルな表現を使い分けることができる。
6	オンラインのディスカッションで、専門的な、または抽象的な話題でも追加の説明を求めたり、追加の説明をしたりしながら参加することができる。	リストから削除・タスクが複数・他の項目と重複
7	オンラインのチャット で、複数の参加者がいる場合、コミュニケーションの意図や文化的な意味を理解しながら、やりとりをすることができる。	オンラインの同期型の文字チャット で、コミュニケーションの意図や文化的な意味を理解しながら、やりとりをすることができる。
8	様々なオンライン環境や、コミュニケーションの目的によって、必要に応じて表現や文体をすばやく調整することができる。	リストから削除・項目5と重複
9	オンラインのディスカッション で発生する文化的な誤解に対して、コミュニケーション上の問題や感情的な反応を予測して、効果的に対応することができる。	同期型のオンラインディスカッション で、発生する文化的な誤解に対して、コミュニケーション上の問題や感情的な反応を予測して、効果的に対応することができる。
10	オンラインのディスカッションに参加するときに 、曖昧な、時には冗談を含んだ文脈にも柔軟に敏感に反応し、はっきりと正確に自分の意見を述べるることができる。	同期型のオンラインディスカッション で、曖昧な、時には冗談を含んだ文脈にも柔軟に敏感に反応し、はっきりと正確に自分の意見を述べるることができる。

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

Can-do項目の修正・質的調査・項目の確定 (2021~2022年度)

No.	目標が設定されているオンライン上の処理と協働 2020	BJFW2022
11	オンラインでの業務のプロセス上で起こる誤解を解き、摩擦に効果的に対処することができる。	リストから削除・項目9と重複
12	オンラインで資料や原稿を作成する際、推敲と校正の段階で、グループの作業に指示をして、精度を高める修正をすることができる。	同期型のオンラインの作業 でグループに指示をして、より良い資料や原稿を作成することができる。
13	複雑なオンラインでの処理をする時に、ディスカッションと交渉をやりこなすために、言語を柔軟に調整することができる。	同期型のオンラインディスカッション で、やりとりと交渉をするために話し方を柔軟に調整することができる。
14	オンラインで担当業務に関する条件交渉や複雑な詳細を説明するなどのやりとりをすることができる。	オンラインで担当業務に関する条件交渉や複雑な詳細を説明するなどのやりとりをすることができる。
15	オンラインのやりとりで起こる誤解や想定外の問題があるときに、解決のために丁寧に適切に返信して対応することができる。	リストから削除・項目9と重複
16	オンラインで社内のプロジェクトをしているグループで提案を評価したり、分担作業のために補助的な役割をしたり、必要な説明を求めたりすることができる。	リストから削除・項目17と重複
17	オンライン上の分担された作業を完成するために指示に従ったり、質問をしたり、説明を求めたりすることができる。	オンライン上の分担された作業を完成するために指示に従ったり、質問をしたり、説明を求めたりすることができる。
18	専門分野や、担当業務に関するオンライン上の協働作業で、目標達成のために、グループのメンバーに役割や分担、締め切りをリマインドすることによってリーダー的な役割を果たすことができる。	オンライン上の協働作業 でグループのメンバーに役割・分担・締め切りを確認することによって、リーダー的な役割を果たすことができる。
19	オンライン上で、協働で原稿や資料を書いたり、書き直したりする複雑なプロジェクトで目標達成のための指示を正確に理解したり、他の人に伝えたりして、参加することができる。	リストから削除・項目12と重複
20	オンライン上の協働的なやりとり上で起こりうるコミュニケーション上の問題や文化的な問題をメディア（ビジュアル、オーディオ、グラフィック）を使って説明・確認・例示をすることによって、効果的に処理することができる。	オンライン上の文化的な問題 をメディア（ビジュアル、オーディオ、グラフィック）を使って説明・確認・例示をすることによって、効果的に処理することができる。

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

CEFR-CV 2018 仲介 Can-do 書き換えのプロセス (2020→2022)

ONLINE CONVERSATION AND DISCUSSION オンラインによる会話とディスカッション

	CEFR-CV 2018	日本語訳	2020 書き換え	2021~2022 修正
C1	Can engage in online exchanges , linking his/her contributions to previous ones in the thread , understanding cultural implications and reacting appropriately .	オンラインで 文化的なスレッド内の自分の投稿を以前の投稿にリンクして、 含蓄を理解し、適切に返信して、やりとりに参加 することができる。	オンラインのチャットで スレッド内の自分の発言内容に対する 他の人の反応を適切に理解して返信し、やりとりに参加 することができる。	オンラインの同期型の文字チャットで スレッド内の自分の書き込みに対する 他の人の反応を適切に理解して返信し、やりとりに参加 することができる。

GOAL-ORIENTED ONLINE TRANSACTIONS AND COLLABORATION 目標が設定されているオンライン上の処理と協働

	CEFR-CV 2018	日本語訳	2020 書き換え	2021~2022 修正
B2	Can provide guidance and add precision to the work of a group at the redrafting and editing stages of collaborative work .	協働作業の 推敲と校正の段階 でグループの作業に指示をしたり、 精度を高める修正 をすることができる。	オンラインで 資料や原稿を作成する際、 推敲と校正の段階 でグループの作業に指示をして、 精度を高める修正 をすることができる。	同期型のオンラインの作業 でグループに指示をして、 より良い資料や原稿 を作成することができる。

CEFR-CV 2018を援用した「オンライン」Can-do開発のプロセス

今後の計画

2022～2023年度

- 1) 300名の高度外国人材にCan-do調査および経験調査を実施
- 2) 項目の難易度を推定するためにラッシュ系モデルによる統計分析を実施
- 3) 分析結果に基づき、妥当性検証によってCan-do項目を再精査
- 4) Can-do項目を難易度順に並べ、レベル設定を行い、尺度化
- 5) ビジネス日本語フレームワークを広く一般公開

参考文献

- (1) 葦原恭子・奥山貴之・塩谷由美子・島田めぐみ（2017）「高度外国人材に求められるビジネス日本語フレームワークの構築 -直観的手法を中心に-」『琉球大学国際教育センター紀要』創刊号, pp.1-14, 琉球大学国際教育センター, 2017年5月
- (2) 葦原恭子・塩谷由美子・島田めぐみ（2021）「高度外国人材に求められるオンラインコミュニケーションスキルとは -CEFR 2018 補遺版に基づくCan-do statementsの開発-」『琉球大学国際教育センター紀要』第5号, pp.1-15, 琉球大学国際教育センター, 2021年3月
- (3) 葦原恭子・塩谷由美子・島田めぐみ・奥山貴之・野口裕之（2022）「高度外国人材に求められるオンライン業務スキルに関する実態調査-CEFR-CV 2018に基づき開発したCan-do statementsを用いて-」『琉球大学国際教育センター紀要』第6号, pp.1-13, 琉球大学国際教育センター, 2022年3月
- (4) 国土交通省（2020）「テレワーク人口実態調査」https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/telework_index.htm (2021年2月26日閲覧)
- (5) 総務省（2020）「令和元年通信利用動向調査の結果」https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin02_02000148.htm (2022年9月14日閲覧)
- (6) Council of Europe（2001）*Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment* <https://rm.coe.int/16802fc1bf> (2022年9月14日閲覧)
- (7) Council of Europe（2018）*Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching Assessment Companion Volume with New Descriptors* <https://rm.coe.int/cefr-companion-volume-with-new-descriptors-2018/1680787989> (2022年9月14日閲覧)

科学研究補助金 基盤研究 (C)

**高度外国人材に求められるビジネス日本語フレームワークの確立
—尺度化と妥当性検証—**

課題番号19K00712

研究代表者：葦原恭子

研究分担者：塩谷由美子, 島田めぐみ, 奥山貴之, 野口裕之

2019年4月～2023年3月

質疑応答

ありがとうございました

